

平成23年度
実施事業

事務事業名 市民生涯学習推進講座（登別ときめき大学）

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる
施策	1	市民の主体的な学習の推進
小分類	1	生涯学習活動の促進
主要な施策	1	ライフステージ（生涯学習各期）に対応した多様な学習機会の充実
事務事業番号	008	事業開始年度 平成 23 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	社会教育 G
-----	-----	-------	--------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	市民が生涯を通じて、学習活動を行うことのできる環境を整えることで、学習成果の活用が図られる生涯学習社会の実現を目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	社会・経済・自然・歴史・文化など他分野を学び、それぞれの知識の充実とともにまちづくりを担う人材を育成する。事務局主催の基礎コースと他団体主催の連携コースを設置。 【基礎コース】 「登別のまちづくり」、「世代間交流」、「社会見学」（苫東厚真発電所等）、「登別市の観光」、「あなたの食べ方飲み方大丈夫?!」、「3 B 体操」、「放射線の影響と私たちの生活」 計 7回 【連携コース】 ウォーキング講習会、郷土資料館特別展、縄文講演会など 計 22 講座登録
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	登録者数を増加させるために、引続き運営委員会と協働で講座内容の充実と周知を図っていく。
根 拠 法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称 登別ときめき大学参加負担金	千円		227	300	300	300
一般財源	名称	千円		195	380	380	380
事業費 合計			0	422	680	680	680

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	受講者数（基礎コース年間）	人	目標値		300	300	300	300
			実績値		510			
	学習回数（基礎コース年間）	回	目標値		6	6	6	6
			実績値		7			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
4年制などの進級・卒業のための単位取得が目的になっている点が見られる 行政による単位管理など受身の学習環境	運営委員会との事業の協働を進めることにより、学びたい時に学ぶという学習環境に移行し、受身から自主的な学習環境を自ら構築できるようにする。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 現在の形態が落ち着くまでの数年は運営委員会との協働で実施する必要があるが、将来的には運営委員会による自主運営が望ましい。また、市内だけではなく、地域全体の学習環境の充実を図るためにも、広域化を図っていく必要がある
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 市民から内容の充実した講座の提供が求められている。また、学習環境の整備は、市民を中心とした地域力を高めることにもつながり、必要性が高い事業といえる。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 年間の講座日程で講師の所属団体によっては低予算で実施している。また、全国クラスの講師においては多額の経費がかかるものの、地域をより理解するためにも、広い視点を持った一流の話を聞く機会を整備する必要がある。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 旧大学からの移行のため多少の戸惑いも見られるが、講座テーマなど事業の充実の声を聞いている。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	まちづくりを担う人材を育成するなど生涯学習社会を推進するためにも、運営委員会と協働でより充実した講座を企画し、事業を進めていく必要がある。
-----------	----------------------	---

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
-----------	----